

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	解剖学3	講義	1	20	解剖学・生理学・病理学・臨床医学各論
学科 ・ 学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 2年	川口 拳	☐ 有 ☒ 無	特記事項なし		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
解剖学における感覚器の構造と、生理学における感覚器の働きを理解する。 感覚器の生理学も一緒に学んでいきます。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
この授業では、人の身体の構造と働きを理解すると共に、鍼灸臨床で鍼を刺す深さを理解し、鍼尖が当たってはいけない部分をしっかりと把握しておくことと、感覚器疾患への病態への知識を深めるための科目です。					
教科書・参考書					
教科書:医道の日本 東洋療法学校協会編 「解剖学」、医道の日本 東洋療法学校協会編 「生理学」					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	筆記試験の正答率を成績判定の参考とします。			
その他		臨時に成績判定に組み入れる課題を別途追加して評価割合を変更する場合は事前に告知します。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		<u>感覚①</u> 皮膚の構造、感覚の分類・性質、体性 感覚解剖学p26～31 生理学p250～257		/	川口
2		<u>感覚②</u> 内蔵感覚、痛覚 生理学p257～264		/	川口
3		<u>感覚③</u> 特殊感覚(聴・視覚) 生理学p270～276 p266～268		/	川口
4		<u>感覚④</u> 特殊感覚(嗅・平衡・味覚) 生理学p269～270		/	川口
5		<u>味覚器、嗅覚器の解剖</u> 味蕾、嗅細胞 解剖学p157～158		/	川口
6		<u>平衡聴覚器の解剖</u> 外耳、中耳、内耳 解剖学p153～157		/	川口
7		<u>視覚器の解剖</u> 眼球、眼球の付属器 解剖学p148～153		/	川口
8		<u>視覚器の解剖</u> 眼球、眼球の付属器 解剖学p148～153		/	川口
9		総合復習		/	川口
10		総合復習		/	川口
後期試験(授業外実施)					